

茨城県立



日立産業技術専門学院

Ibaraki Prefectural Academy of Industrial Technology at Hitachi

— ものづくりのプロを目指してみませんか? —

2024年入学案内

正社員
就職率100%

技術者として
役に立つ資格を
取得

少人数制で
ていねいな
技術指導



学院HPはこちら



PR動画公開中



日立産業技術専門学院は、「ものづくりのプロ」になりたい皆さんをサポートします！

日本は戦後、製造業を中心としたものづくり立国として経済発展を遂げました。

なかでも、日立産業技術専門学院のある日立市は、世界的な大企業をはじめ、オンリーワン技術を有する企業が林立する工業都市として発展してきました。

一方、近年、第4次産業革命と呼ばれるIoTやAI技術の発展が目覚ましく、将来的に「AIに仕事を奪われるのでは？」と危惧する意見もありますが、ものづくりの技術はそのすべてがロボットで代替できるものではありませんので、今後も人手による作業が必要になるものと考えております。

日立産業技術専門学院での技能の習得

日立産業技術専門学院は、職業能力開発促進法に基づき、茨城県が設置した職業能力開発施設であり、カリキュラムは厚生労働省が定めた技能の習得に特化した実践的なものです。

日立産業技術専門学院には、地域の企業ニーズを踏まえ、ものづくりの主要な技能を習得できる金属加工科と機械加工科の2つの訓練科が設置されております。金属加工科では、金属の板を「切る・曲げる・つなげる」といった溶接や板金に関する知識や技能を幅広く習得します。機械加工科は、金属の塊等を機械で「削る」旋盤、フライス盤、コンピュータ制御の各種工作機械やコンピュータ製図(CAD)の知識や技能を幅広く習得します。

これまで日立産業技術専門学院では、製造業を支える多くの人材を輩出してきました。今後もものづくりのプロになりたいという皆さんをサポートしていきたいと考えております。

日立産業技術専門学院で学ぶ6つのメリット

メリット1 少人数制で丁寧な技術指導

金属加工科、機械加工科ともに、学生10人当たり1人の指導員が配置されており、きめ細やかな指導を行っています。

メリット2 正社員就職率100%

日立産業技術専門学院には、県北・県央地域の大手・中堅企業を中心に多くの求人があります。企業情報を豊富に持っている指導員が、学生一人一人に丁寧なキャリアカウンセリングを行っており、就職内定までマンツーマンでサポートします。

メリット3 社会で役に立つ資格の取得

資格を取得していると就職に有利になり、また就職後も資格が必要とされることが多くあります。日立産業技術専門学院では、JIS溶接技能者評価試験、2級技能検定(普通旋盤)のように、企業で重視される資格を取得できます。

メリット4 実習中心のカリキュラム

カリキュラムの約2/3が実習、そのほかが専門的座学なので、高校普通科卒業の方でも安心して企業で使われている実践的な技術を身に付けることができます。

メリット5 充実した設備

旋盤やCAD、アーク溶接機等、実習の中心となる機械が1人1台使用することができます。また、NC旋盤や溶接ロボットのような高価な機械も共同で使用することができます。

メリット6 社会人としてのマナー習得

社会人のマナーを学び、企業生活を送るうえで必要なルールを身に付けることができます。

楽しみながら技能を習得!!

金属加工科、機械加工科では、技能習得の実技練習だけでなく、課題製作を通して楽しく学ぶことができます。

4輪バギーボディ製作(金属加工科製作)



製作過程はこちら!

金属加工科では、板金実習課題として「4輪バギーのボディ」を作りました。実際に走らせてテストしました。

バーベキューセット(金属加工科課題)



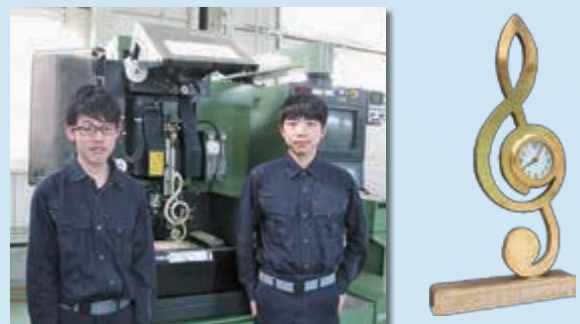
金属加工科では、プレス課題として、「バーベキューセット」を作りました。このセットは実際にバーベキューに使えるしっかりしたものです。

キャラクタープレート(機械加工科課題)



機械加工科では、加工技能と製図の技能と技術を向上する為、「技能検定 普通旋盤作業 2級実技試験」及び「技能検定 機械製図CAD作業 3級試験」の合格を目標に掲げて取り組んでいます。技能検定は国家検定であり、合格すると関連企業から高い評価を頂くことができます。

装飾時計(機械加工科課題)



機械加工科では、皆で協力して、コンピュータ制御の工作機械(NC)を使い「ト音型装飾時計」を製作しました。コンピュータ制御の工作機械(NC)を動かすための加工プログラムは、コンピュータを活用して自動作成(CAM使用)しました。

「茨城県ものづくり人材育成ブログ」の最新情報をチェック!

ブログはこちら!



日立産業技術専門学院のオープンキャンパスなどのイベント情報をはじめ、就職内定状況や資格取得状況、卒業生の生の声など、最新の情報を定期的に発信しています。県内の産業学院の情報も掲載していますので、ぜひご覧ください。

茨城県ものづくり人材育成ブログ <http://blog.livedoor.jp/shokunoibaraki/>

※日立学院HPから日立学院のブログ記事だけをピックアップしてご覧になれます

日立産業技術専門学院生の出身校(順不同)

高萩高校/高萩清松高校/日立第一高校/日立工業高校/多賀高校/日立商業高校/磯原郷英高校/太田西山高校/大子清流高校/小瀬高校/常陸大宮高校/水戸農業高校/水戸工業高校/水戸商業高校/水戸南高校/水戸桜ノ牧高校/勝田工業高校/那珂湊高校/海洋高校/笠間高校/東海高校/水戸桜ノ牧高校常北校/石岡第一高校/玉造工業高校/下館第二高校/明秀学園日立高校/翔洋学園高校/常磐大学高校/水戸啓明高校/水城高校/水戸平成学園高校/第一学院高校/わせがく高校/北海道立月形高校/福島県立勿来工業高校

金属加工科

定員
20名

訓練期間
1年間

出願資格
高卒者等

つな —未来を「溶接ぐ」— 目指せ！溶接のスペシャリスト！！

- 金属の鉄板を「切る・曲げる・つなげる」という溶接や板金に関する知識・技能を幅広く習得することができ、応用力を養うことができます。
- アーク溶接機の設備が1人1台設置されているため、個人の習得速度に合わせた実技練習ができます。
- 1年間で半自動溶接をはじめとしたJIS溶接技能者評価試験に合格することを目標としており、練習を通して技能者として必要な心構えや根気を養うことができます。
- 県北・県央地域には、それぞれ独自の技術を有する優良企業が多数あり、しっかりした技能を身に付けることで就職に有利となります。



習得する技能(カリキュラム)

- アーク溶接
- 半自動溶接
- ステンレス鋼など特殊金属を溶接するTIG溶接
- 板金加工
- コンピュータで図面を描くCAD機械製図
- 溶接ロボット など

アーク溶接〔JISアーク溶接技能者評価試験A-2F〕



- 溶接棒を使って溶接を行う、一般的にイメージされる溶接方法です。
- 溶接機と溶接棒が使えるれば、場所を選ばず作業ができるため、企業から根強い需要があります。
- 鉄橋やビルディングの建設など、主に建設関係の企業で使用されています。

半自動溶接〔JIS半自動溶接技能者評価試験SA-2F〕



- 溶接ワイヤを使った、非常に作業効率の良い溶接方法です。
- 溶接製品を製作するほとんどの企業で使用されています。
- 大型建設機械や発電所関連の製品を作る企業で使用されています。

TIG溶接〔JISステンレス鋼溶接技能者評価試験TN-F〕



- ステンレスやアルミニウムなど、特殊な金属を溶接する技術です。
- 付加価値の高い製品が作れるので、企業への導入が進んでいます。
- 発電所関連の製品を作る企業で使用されています。

手板金



- 薄い鉄板をハンマー等で加工し、立体物を作ります。
- 紙や木とは違う、金属の性質を体験から学びます。

取得可能な資格

それぞれの溶接の技術レベルを証明する資格です。この資格を持っている人が作った溶接製品は、品質が保証されます。取得すると就職が非常に有利になります！

【在学中】

- ・ JIS溶接技能者評価試験(アーク、半自動、TIG)
 - ・ ガス溶接技能講習修了証
 - ・ アーク溶接特別教育修了証
 - ・ 自由研削といし特別教育修了証
 - ・ 技能士補(塑性加工)(技能検定における関連職種の学科免除)
- ※それぞれの就職先で必要とされる溶接法を中心に受験します。

労働安全衛生法に基づく資格です。
取得可能なカリキュラムになっています。

【修了後】

- ・ 職業訓練指導員試験受検資格(必要経過年数の短縮)
- ・ 2級技能検定受検資格(必要経過年数の短縮)

就職先

全員が正社員として就職 令和4年度全修了生分

(株)田代工業所2名/山田車体工業(株)1名/(株)IJTT1名/(株)日立建機5名/(株)小松製作所1名/
SMC(株)矢祭工場1名/(株)アロイ1名/三美工業(株)1名

※以上のほか、令和3年度以前もさまざまな企業に就職しています。詳しくは、HPをご覧ください。



学院HP

テクノインストラクターからのメッセージ



金属加工科指導員
宮本 純司

身に付けた技術は、一生の財産

品質の保証された製品を作るためには、溶接機の取扱いだけでなく、溶接トーチの動かし方を身に付ける必要があります。そのためには、視覚、触覚、聴覚を総動員して練習します。金属加工科では、初心者でも基礎からていねいに溶接技術を学べるので、卒業時にはほとんどの学生がJIS溶接技能者評価試験を取得します。こうして身に付けた技術は、いつでも発揮できるようになります。そのような価値ある技術を、私たちと一緒に学んでみませんか？

OBからのメッセージ



日立建機(株) 入社
浅野 海斗 君
令和5年3月修了生

私は、将来の進路について、電子情報系か溶接技術系にするか迷っていましたが、しかし、身体を動かして、鉄板をどんどんつなげて大きな製品を作り上げる溶接技術に魅力を感じ、溶接技術を学べる金属加工科への入学を決めました。

入学してからは、工具の基礎的な取り扱いをはじめ専門的な溶接技術を学びました。先生がわからない所やうまくできない所をていねいに教えてくれるので、就職に役立つ資格もたくさん取ることができました。

企業情報も豊富でマンツーマンの就職指導があり、自分の希望に合った企業に就職することができました。金属加工科に進路を決めて本当に良かったと思います。



(株)小松製作所茨城工場 入社
藤塚 琉来 君
令和5年3月修了生
(常磐大学高等学校 令和4年度卒業)

私は高校生の時、将来は建設機械などの大きな製品を作る仕事に就きたいと考えていました。しかし、私が通っていた高校は普通科で、工業的なことはまったくの未経験でしたので、どのような進路を選べば良いか、想像できませんでした。

そんな時、同じ高校の部活の先輩が日立学院の金属加工科に入学して、建設機械の製造企業に内定したことを知り、自分の進路はこれだと思い金属加工科に入学することを決めました。

金属加工科では、年間カリキュラムの約2/3が実技実習であり、半自動溶接やTIG溶接の技術など、なかなか教えてもらうことのできない内容を、十分な時間取組むことができ、安心して資格試験に臨むことができます。

また、一人一人の個性に沿ったていねいな就職指導があり、社試験対策までしてもらえるので、第一希望の企業に内定することができました！

機械加工科

定員
15名

訓練期間
1年間

出願資格
高卒者等

現場に近いかたちでの基本作業を重視し、
地元企業から求められる人材に育てます。



- 金属を工作機械で削って製品を製作する、機械加工に関する知識・技能を習得することができます。
- 普通旋盤、フライス盤、NC工作機械といった多様な工作機械を用い、多くの製品課題を製作する過程で、操作方法、手順、理論、測定法等を習得します。
- 普通旋盤やCADシステムなどの設備が1人1台設置されているため、個人の習得速度に合わせた実技練習ができます。
- 1年間で、2級技能検定(普通旋盤)と3級技能検定等(機械製図CAD)に挑戦することを目標としており、練習を通して技能者として必要な心構えや根気を養うことができます。
- 県北・県央地域には、それぞれ独自の技術を有する優良企業が多数あり、しっかりした技能を身に付けることで就職に有利となります。

習得する技能(カリキュラム)

- マニュアル操作の工作機械(普通旋盤やフライス盤など)に関する技能
- コンピュータ制御の工作機械(NC)に関する技能
- コンピュータ製図(CAD)の技能 など

マニュアル操作の工作機械 (普通旋盤やフライス盤など)に関する技能



- マニュアル操作の工作機械、特に普通旋盤の技能は工作機械の基本と言われていています。
- 普通旋盤の基本を身に付け、現場でスムーズに作業できるようにするため「2級技能士(普通旋盤)」取得を目標に練習します。

コンピュータによる製図 (CAD)に関する技能

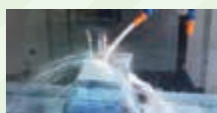


- 製品は図面をもとに製造されるため、図面を読み、形や寸法を読むことが求められます。
- 近年の製造現場では、コンピュータによる製図(CAD)が主流となっています。
- 図面を読む力やCADソフトウェアを使いこなす技能を身に付けるため「3級技能士(機械製図CAD)」取得を目標に練習します。

コンピュータ制御の工作機械(NC)に関する技能



- コンピュータ制御の工作機械(NC旋盤やMCなど)は、多くの企業で主力工作機械として使用されており、これらの工作機械を使いこなすために、必要なプログラム言語や操作方法等、基礎から応用まで幅広く学習します。
- CAD/CAM実習では、作成した3次元CADデータを元に、CAMシステムを使用して複雑な加工プログラムを作成し、実際に加工するまでの技能も習得します。



取得可能な資格

【在学中】

- 3級技能検定(機械製図CAD作業)
- ガス溶接技能講習修了証
- アーク溶接特別教育修了証
- 自由研削といし特別教育修了証
- 技能士補(機械加工)(技能検定における関連職種の学科免除)

これらの技能検定は、国家資格です。
合格すると就職に非常に有利になります！

労働安全衛生法に基づく資格です。
取得可能なカリキュラムになっています。

【修了後】

- 職業訓練指導員試験受検資格(必要経験年数の短縮)
- 2級技能士(普通旋盤)※

※注 前期の技能検定2級実技試験(普通旋盤)に合格し、技能士補(機械加工)を取得することで、申請により2級技能士(普通旋盤)を取得することができます。

就職先

全員が正社員として就職 令和4年度全修了生分

(株)ナジコ製作所1名/(株)神戸工業試験場1名/(株)日立建機2名/(株)オカムラ1名/(株)IJTT1名/
JX金属(株)1名/(株)日港製作所1名/関東職業能力開発大学校(進学)1名

※以上のほか、令和3年度以前もさまざまな企業に就職しています。詳しくは、HPをご覧ください。



学院HP

テクノインストラクターからのメッセージ



機械加工科指導員
假屋園 将司

機械加工科では、機械部品を製作するために必要な図面(設計図)の情報を読み取る知識や工作機械で加工できる技術・技能を習得します。「専門的なことを学ぶのはハードルが高そう」と思うかもしれませんが、一つ一つ初歩から指導しますので「学びたい」という気持ちがあれば心配いりません。実際に毎年入学する大半が普通科出身です。それでも1年間の訓練を経て製造現場で立派に活躍しています。少人数制で一人一人が実習機器を扱える時間を多くとれるので資格取得にも有利です。ものづくりに興味がある方は是非オープンキャンパスにお越しください。

OBからのメッセージ



日立建機(株) 入社
佐々木 杜夢君
令和5年3月修了生

(明秀学園日立高等学校 普通科 令和3年度卒業)

兄が学院を卒業後、日立建機(株)で勤めており、学院には以前から興味を持っていました。いつか技術者として自分が製造に携わった製品が人々の幸せに貢献できると素晴らしいと思い、専門的なスキルを身に付けたいとの思いで、学院の機械加工科に入学しました。学院では、見聞きするものや体験するもののほとんどが初めてで、学びがいのあるものばかりでした。専門的な授業・実習ですので難しい部分もありましたが、先生方の親切丁寧な指導、充実の設備、技能検定試験合格という明確な目標に向けた仲間との切磋琢磨もあり、モチベーションを高く保ちながら実習に励むことができました。在学中に挑戦できる資格にすべて合格することもできましたし、希望していた会社に就職することができ、これからが楽しみです。製造業に就職するなら学院は一推しです。



(株)IJTT 北茨城工場 入社
篠原 拓真君
令和5年3月修了生

(磯原郷英高等学校 令和3年度卒業)

専門技術を駆使してのものづくりをする職業に憧れがあり、高校3年生の時に学院のオープンキャンパスに参加しました。そこで、普通科出身の学院生がテキパキとCAD製図作業をしている様子を見て、憧れが強くなったことと、先生方が学院生に寄り添って優しく指導をしている様子を見て、さらに学院で学びたい気持ちが高まりました。入学後は仲間にも恵まれ、切磋琢磨しながらとても楽しく機械加工、NCプログラミング、機械製図、CADなどの知識・技能を学ぶことができ、あっという間の1年間でした。就職支援も充実していて、学院長先生まで面接練習に付き合ってくださいました。おかげで希望していた会社への就職も叶いました。ものづくりに興味のある方は是非一度、この学院のオープンキャンパスに参加してみてください。

キャンパスライフ



入学式！
1年間頑張ろう！



入学式

4月

オリエンテーション



朝のラジオ体操で
身体をほぐそう！

資格講習カリキュラムでは

- ・ガス溶接技能講習修了証
 - ・アーク溶接特別教育修了証
 - ・自由研削といし特別教育修了証
- を取得することができます



資格講習カリキュラムで
資格をゲット！

5月

(金属加工科)
資格講習カリキュラム

6月



就職活動に向けて
企業見学

7月

(機械加工科)
2級技能検定普通旋盤

企業見学



技能検定に向けて、
練習、練習！

夏休み



板金技術で、キャラクターを
作ってみよう！

8月



念願の2級技能検定普通旋盤(技能賞)合格！
頑張りました！



企業見学で学院OBとパチリ！

訓練のスケジュール

- 【時間割】 8:35～15:40 7時限(1時限は50分、時限間5分休憩、昼休憩45分)
- 【休日等】 土曜日、日曜日、祝祭日、茨城県民の日
夏季休暇(約3週間)、冬期休暇(約2週間)



(機械加工科)
資格講習カリキュラム

9月

就職試験申込み開始
就職試験



10月

希望企業内定！



といしの交換をしています

11月

(金属加工科)
JIS溶接技能者評価試験(半自動)



溶接ロボットも使ってみよう！

12月

冬休み



球技大会はフットサル！

球技大会

1月

(金属加工科)
JIS溶接技能者評価試験(TIG等)

(機械加工科)
3級技能検定機械製図CAD

2月

卒業試験



CAD/CAMにトライ！



実習でいろいろ作ってみよう！

3月

修了式



修了式！
充実した1年間でした

希望企業へ入社！
社会人デビュー！



オープンキャンパス

体験内容

- 施設・設備見学
- ものづくり体験
スマホスタンド製作(金属加工科)
普通旋盤作業

※状況により内容は変更になる場合があります。

令和5年度(2023年度)実施日程 定員:各日10名

- 1 5月14日(日) 9:30~12:00 ※学院見学会
- 2 5月31日(水) 9:30~12:00
- 3 6月11日(日) 9:30~12:00
- 4 7月 5日(水) 9:30~12:00
- 5 7月23日(日) 9:30~12:00
- 6 8月23日(水) 9:30~12:00
- 7 9月10日(日) 9:30~12:00
- 8 10月11日(水) 9:30~12:00
- 9 11月15日(水) 9:30~12:00
- 10 12月13日(水) 9:30~12:00
- 11 令和6年2月28日(水) 9:30~12:00

※上記日程以外は、調整中です。日程が追加・変更されることもありますので、お申込みの際は学院HPで最新の情報をチェックしてください。

対象

高校生(1~3年生)、高校卒業生等

応募方法

高校に在籍している方は進路指導の先生に参加希望を伝え、申込用紙に必要な事項を記入し、実施日の3日前までにFAXまたは下記メールアドレスにお申込み下さい。

その他の方は、直接下記の番号までお電話下さい。

その他 ・保護者の方も参加できます。

茨城県立日立産業技術専門学院
日立市西成沢町3-9-1
TEL : 0294-35-6449
FAX : 0294-36-0454
Mail : hisansen1@pref.ibaraki.lg.jp



学院メールアドレス



コマ製作



スマホスタンド製作



学院HPはこちら

必要事項

- ・氏名
- ・参加希望コース
- ・連絡先



令和6年度(2024年度) 入学者選考試験日程

※詳しくは当学院ホームページ(裏面に記載)をご覧ください。

1. 自己推薦入試

試験日程	出願期間	令和5年(2023年) 7月 3日(月)～8月23日(水)
	試験日	令和5年(2023年) 8月30日(水)
	合格発表日	令和5年(2023年) 9月 6日(水)
出願資格	高等学校又は中等教育学校を卒業(令和6年(2024年)3月卒業見込みの者を含む。)若しくはこれと同等以上の学力を有すると認められる者	
推薦条件	次のいずれにも該当する者 ・県立日立産業技術専門学院を進路志望先の第1位として考えている者 ・希望訓練科の目的を理解し、将来、技術者として活躍を希望し、入学後、技術・技能等の習得が期待できると認められる者 ・人物に優れ、勤勉であるとともに健康である者	
出願書類	1. 入学願書・受験票(電子納付又は茨城県収入証紙2,200円・写真1枚・63円切手貼付) 2. 自己推薦書(所定の用紙) 3. 調査書(高等学校所定の用紙(進学用)) 4. 志望理由書(所定の用紙)	
試験科目	適性検査、面接選考、書類選考	

2. 高等学校長・中等教育学校長推薦入試、事業主特別推薦入試

(1) 高等学校長・中等教育学校長推薦入試

試験日程	出願期間	令和5年(2023年) 9月 7日(木)～9月20日(水)
	試験日	令和5年(2023年) 9月27日(水)
	合格発表日	令和5年(2023年)10月 4日(水)
出願資格	高等学校又は中等教育学校を令和5年度(2023年度)に卒業又は卒業見込みの者	
推薦条件	次のいずれにも該当する者 ・県立日立産業技術専門学院を進路志望先の第1位として考えている者 ・希望訓練科の目的を理解し、将来、技術者として活躍を希望し、入学後、技術・技能等の習得が期待できると認められる者 ・人物に優れ、勤勉であるとともに健康である者	
出願書類	1. 入学願書・受験票(電子納付又は茨城県収入証紙2,200円・写真1枚・63円切手貼付) 2. 推薦書(所定の用紙) 3. 調査書(高等学校所定の用紙(進学用))	
試験科目	適性検査、面接選考、書類選考	

(2) 事業主特別推薦入試

※企業にお勤めの方(内定者を含む)を対象とした入試です

試験日程	出願期間	令和5年(2023年) 9月 7日(木)～9月20日(水)
	試験日	令和5年(2023年) 9月27日(水)
	合格発表日	令和5年(2023年)10月 4日(水)
出願資格	高等学校又は中等教育学校を卒業(令和6年(2024年)3月卒業見込みの者を含む。)若しくはこれと同等以上の学力を有すると認められる者	
推薦条件	次のいずれにも該当する者 ・茨城県内の事業所に勤務する者(内定者を含む。)で、概ね35歳以下の者 ・希望訓練科の目的を理解し、将来、技術者として活躍を希望し、入学後、技術・技能等の習得が期待できると認められる者 ・人物に優れ、勤勉であるとともに健康である者	
出願書類	1. 入学願書・受験票(電子納付又は茨城県収入証紙2,200円・写真1枚・63円切手貼付) 2. 推薦書(所定の用紙) 3. 調査書(高等学校所定の用紙(進学用)) 調査書を取得できない場合は、最終学歴を証明する書類(卒業証明書又はこれに準ずる書類) 4. 履歴書(写真貼付)	
試験科目	適性検査、面接選考、書類選考	

※事業主特別推薦は、上記記載にかかわらず随時受付も可能です。詳しくは県立日立産業技術専門学院までお問合せください。

3. 一般入試

		A日程	B日程
試験日程	出願期間	令和5年(2023年)10月 5日(木)～10月25日(水)	令和5年(2023年)11月 9日(木)～11月29日(水)
	試験日	令和5年(2023年)11月 1日(水)	令和5年(2023年)12月 6日(水)
	合格発表日	令和5年(2023年)11月 8日(水)	令和5年(2023年)12月13日(水)
出願資格	次のいずれかに該当する者 ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年(2023年)3月卒業見込みの者 イ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年(2024年)3月31日までに次の(ア)又は(イ)に該当する見込みの者 (ア)専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 (イ)高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者 ウ 上記ア又はイに準ずると認められる者		
出願書類	1. 入学願書・受験票(電子納付又は茨城県収入証紙2,200円・写真1枚・63円切手貼付) 2. 調査書(高等学校所定の用紙(進学用)) 調査書を取得できない場合は、最終学歴を証明する書類(卒業証明書又はこれに準ずる書類)		
試験科目	適性検査、面接選考		

※一般入試B日程の終了時に定員を充足していない場合、追加で一般入試を実施することがあります。

詳しくは当学院ホームページ(裏面に記載)をご覧ください。

入学者選考試験手数料の減免を希望される方は、茨城県収入証紙を購入せずに、出願の2週間前までにご相談ください。

Q & A

Q1 「金属加工科」と「機械加工科」は、名前が似ていますが違いは何ですか？

A1 どちらも、製造業に就職するための技術を学ぶ訓練科ですが、それぞれ内容は違います。

金属加工科では、金属を溶接などで接合して、大きな製品を作ります。ショベルカー、発電所、電車の部品など、自分の作った製品が多くの人々の目に触れ、未来に残る製品を作り出すことが魅力です。自分の感覚を活かしてものづくりをしたい方に向いています。

機械加工科では、材料を「旋盤などの機械で」削って部品を作ります。製作図面をパソコンを用いて描いたり、製作図面をもとに切削加工や1/100mmといった精密加工を行ったりするので、コツコツと技術を積み上げたい方やITに興味がある方に向いています。

Q2 普通科の高校出身でも大丈夫ですか？

A2 例年、入学者の8割程度は普通科の出身です。その他、工業科だけでなく総合学科や商業科などからも入

学しています。ものづくり技術の基本から丁寧に指導しますので、工業科以外の方も十分に授業について行くことができます。また、工業科出身の方は、さらに専門スキルを向上させることができます。

Q3 女性はいますか？

A3 例年、女性が入学しています。エアコン付きの女子更衣室や女子トイレなども完備しております。

Q4 どういった地域から通学していますか？

A4 日立市周辺をはじめ、水戸市、ひたちなか市、常陸太田市、常陸大宮市、北茨城市などから、電車・バスや自家用車を使用して通学している学生が多いです。また、1年間と短いため、学院の近くにアパートを借りて通学していた学生もいました。

Q5 入学金や授業料は、どのくらいですか？

A5 入学金は5,650円、授業料は年間118,800円です。詳しくは、下の入校経費等の欄をご覧ください。

Q6 入学試験の内容は？

A6 入学試験は、適性検査や面接試験などです。一般的な学力試験は行いません。

入校経費等

入学試験 受験料	2,200円	※あらかじめインターネット(いばらき電子申請・届出サービス)でクレジットカードやPay-easy(ペイジー)で2,200円を納付し、入学願書の茨城県収入証紙貼付欄に「電子納付済」と記入していただくか、又は、入学願書の指定した欄に茨城県収入証紙(2,200円)を貼付し納付してください(消印は不要です)。
入学金	5,650円	
授業料	118,800円(前期 59,400円・後期 59,400円)	

※上記金額は変更になる場合があります。 ※鉄道・バスなどの学生割引・通学定期が適用されます。

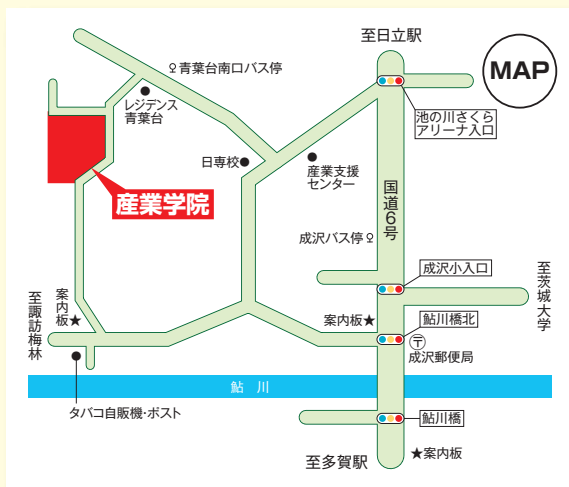
※その他、教科書、作業服代等は別途個人負担となります。

※一定の条件により減免できる制度があります。お申込みに住民票等の書類が必要となりますので、料金を納入する前に、早めに当学院までお問い合わせください。



ヒロトレーニング
— 急がば学べ —

所在地案内図



公共交通機関アクセス

JR常磐線 日立駅から

- 「大甕駅西口行」、「下台原行」、「みかの原団地行」乗車「成沢」バス停下車 徒歩10分
- 「堂平団地行」乗車「青葉台団地南口」バス停下車 徒歩5分

JR常磐線 常陸多賀駅から

- 「日立駅中央口行」、「神峰営業所行」乗車「成沢」バス停下車 徒歩10分
- 「堂平団地行」乗車「青葉台団地南口」バス停下車 徒歩5分

茨城県立日立産業技術専門学院

〒316-0032 日立市西成沢町3丁目9番1号

TEL.0294-35-6449

FAX.0294-36-0454

URL : <http://www.pref.ibaraki.jp/shokorodo/hisansen/kunren/index.html>

Mail : hisansen1@pref.ibaraki.lg.jp

「茨城県ものづくり人材育成ブログ」発信中

<http://blog.livedoor.jp/shokunoibaraki/>

日立産業学院 で 検索

